

センター通信

2020年2、3月〔第254号〕

発行所 社会福祉法人広島市手をつなぐ育成会

広島市就労支援センター

TEL (082) 537-1331

FAX (082) 537-1332

E-mail: si-jusan@gaea.ocn.ne.jp

http://h-shisyurou.jp/

Create(創造), Challenge(挑戦), Collaborate(協働)を大切に

雪の降らない暖かい睦月が終わりました。まさに地球温暖化を体感する不気味な冬を迎えています。その一方世界情勢も、年明け早々に中東情勢の緊張が高まり、それがひと段落したかと思ったら、中国武漢市を中心に広がった新型コロナウイルスによる肺炎拡散が、世界中の人々を脅かしています。不穏なニュースばかりが続いていますが、この一年が良い年になるよう祈るような思いです。

さて、年末・年始と様々なイベントが続きましたが、年末に開催した「第20回セルフフェア」についての状況を、県就労振興センターに報告して頂きました。

セルフフェア 2019 を開催して

開催期間： 2019年11月28日(木)～12月10日(火)

場 所： ひろしま夢ぷらざ(広島市中区本通り 8-28)

出店事業所： 22 事業所

総 売 上： 1, 652, 039 円

【目 的】

- ・障害のある人たちが作る福祉事業所の製品の展示販売を通じて、障害者福祉への理解を深めていただくこと
- ・障害のある人たちの工賃の向上と働く意欲を高める支援につなげていくこと



セルフフェアは1999年に本通りに「ひろしま夢ぷらざ」が広島市中区新天地アリスガーデンから移転オープンして以降開催させていただき、今回、20回目を迎えました。毎年11月下旬～12月初旬の2週間開催して、雑貨やお菓子、クリスマスやお正月、干支などの季節商品を販売しています。年末繁忙期のセルフフェア開催に、店内販売ブースと店頭販売ブースを準備くださる「ひろしま夢ぷらざ」様のご協力に感謝申し上げます。

今年度開催にあたり、出店事業所でどのようなイベントを実施するのが協議しました。

①イベント運営費をどうするか

様々な事情に伴い、ひろしま夢ぷらざの販売手数料が見直されました。これまでイベントの運営費は出店事業所からの販売手数料で賄っていましたが、例年通り実施すると事業所負担が増え、障害のある人たちの工賃が減ってしまう可能性があります。そこで、今年度より、協力していただける企業を募り、協賛を集めることにしました。その結果、12の企業等が快く協賛して下さり、目標金額に達することができました。改めて、協賛していただいた企業や事

業所のご協力に感謝申し上げます。

②集客、売上増に向けた取組



昨年に引き続き「お楽しみ抽選カード」の配布を行いました。関係者等への事前配布や、期間中の来店者に声掛けをする等、出店事業所が広報を意識しながら取り組むことができました。その結果、昨年より多くのお客様に参加をいただきました。

出店事業所で全員が実行委員として、イベントをどう運営するか、どう盛り上げるのかについてさまざまな意見を出し合ったことで、自分たちで作るイベントなのだという意識も高まったのではないかと感じました。

20回の節目を迎えましたが、出店事業所が減ってきていることや、集客や売り上げをどう伸ばしていくか等、今後課題は山積です。しかしながら、これからも事業所の皆様と一緒に作り上げていくイベントとして、お客様も事業所も楽しみになるようなフェアになるよう、準備していきたいと思っております。そのことが、障害のある人たちがいきいきと働く支援につながるのではないかと考えます。

最後になりましたが、セルフフェア開始当初から支えてくださったひろしま夢ぷらざ店長 倉岡様が退職されるとのことです。商品品質や販売方法等のアドバイスをいただいたり、事業所からのさまざまな要望にも温かく対応してくださり、セルフフェアと一緒に盛り上げていただきました。長い間、大変お世話になり、本当にありがとうございました。

(広島県就労振興センター 曾根 都)

イベント報告

年末から、年始にかけて様々なイベントがありました。それぞれのイベントの様子を出店事業所の感想等を交えて報告します。

第37回 広商デパート

期日 令和元年12月7日(土)・8日(日) 場所 広島県立広島商業高等学校

「広商デパート」は、生徒に商業の基礎的・基本的な知識や技術等を身につけるさせる実践的・体験的な学習の場として毎年開催されています。今年も、市就労がとりまとめをして17事業所の自主製品を納品しました。販売の担当になった1年7組の生徒さんからの礼状を紹介します。

「…(略)…この度の第37回広商デパートにおきましては、年末の大変お忙しい中ご協力いただきましたことにありがとうございました。私たちは、初めての広商デパートのため当日を迎えるまで期待と少しの不安もありました。しかし、広商デパートが始まり、緊張もほぐれ一生懸命に取り組むことができました。広商デパートが終わった時には、充実感と感謝の気持ちでいっぱい



でした。広商デパートを通して、社会人としての言葉遣いや仕事を進める上での態度や心構えなどを、身をもって学ぶことができました。と思いました。

最後になりましたが、貴社ますますのご発展と、社員の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

広島県立広島商業高等学校 1年7組 店舗マネージャー」

損保ジャパン日本興亜株式会社 社内販売

期日 令和元年12月17日(火)～12月20日(金)
場所 広島トランヴェールビルディング地下1階

紙屋町にある広島トランヴェールビル地下（損保ジャパン日本興亜社員食堂）において、今年度は10事業所が出店販売を行いました。参加した事業所の感想の一部を紹介します。

「2時間ですが、いろんな方に見て頂いて『去年これを買いました。』と嬉しいお声も聞けました。損保ジャパンの方が、声かけをして下さったり、商品を勧めて下さったりして売り上げが伸びました。ありがとうございました。また、よろしくお願ひします。(かざぐるま舎)」

「毎年、社員の皆様があたたかい言葉をかけてくださるので職員も利用者も損保ジャパンでの販売をとっても楽しみにしています。今回もたくさんの方に商品を手に取っていただき、とても嬉しかったです…。(すまいるスタジオ)」

総売上金額 188,890円(昨年198,667円)



僕らのアトリエ in アステール

日時 令和2年1月23日(木)～1月25日(土)
開催場所 JMS アステールプラザ1階 市民ギャラリー

広島市教育委員会と広島市就労支援センターが主催する「僕らのアトリエ in アステール」を、今年度もJMS アステールプラザ1階 市民ギャラリーで開催しました。この事業は、小・中学校特別支援学級及び特別支援学校の作業学習や職業教育の充実を図るとともに、市民への理解・啓発及び小・中学校特別支援学級、広島特別支援学校と福祉作業所等の交流を進めることを目的とするものです。作品展示会では、市立特別支援学校、市立小・中学校特別支援学級の児童・生徒の作品に加えて、16事業所が手づくり製品を展示販売しました。



例年なら最も寒い時期で、去年は雪がちらつく日もありましたが、今年度は暖冬のため3日間とも穏やかな暖かい日となりました。初日(23日)の中国新聞の朝刊で「僕らのアトリエ in アステール」の紹介があり、広報による集客が期待されましたが、アステールプラザでの大きなイベントが開催されなかったこともあり、昨年ほどの来客数にはなりませんでした。それでも、はじめの2日間は、特別支援学校や特別支援学級の児童・生徒さんたちが、多数買い物体験に来場し、最終日は、休日ということもあり、家族連れや関係者の皆様にたくさんご来場いただきました。今年度の来場者数は、747人でした。去年は、広島市特別支援学校が出島へ移転後(H24)最高の950人でしたが、今年度はそれに続く2番目の入場者数となり、3日間の総売り上げは、313,730円で昨年(273,255円)を上回り、平成24年以降最高となりました。

会場には、特別支援学校や支援学級の児童・生徒の心温まる作品が展示され、訪れる皆さんは、それを興味深く観賞しておられました。出店した事業所は、他の事業所の自主製品を見て回って情報交換をしたり、お互いに買い求めたりなどして、良い交流の場となったようです。

反省として、①クッキー等の食べ物の販売が2日目に



集中したため、1日目と3日目が雑貨だけになってしまった。②2日目は、児童の「買い物体験」があることが分かっていたので、200円の商品を用意できたが、1日目と3日目は、子どもたちの買い物への配慮が足りなかった。等があったので、次年度へ活かしたいと思います。

(参加事業所のアンケートより)

- 支援学級の子どもさん達が買いやすい値段の商品をもう少し用意しておけば良かった。事業所の取組や様子を聞かせて頂く時間があったのは良かったです。ゆったりとしたイベントでしたのでイベントに参加したことのない利用者さんも参加することができたのはとても良かったです。
- 小学生の買い物学習について、事前にご連絡いただいていたので予算に合わせた商品の準備ができました。選びながら楽しくお買い物ができるよう良かったです。リンゴやわかめを購入されたのが印象的でした。出店する作業所が少なくなってきたことが残念に思います。売上は昨年よりも多かったです。

広島市役所 1 階ロビー、安佐北区(区役所、総合福祉センター) 出店販売

2月、3月の出店販売日は下記のとおり、販売時間は12:00~13:00です。3月31日(安佐北区は24日)が今年度最後の出店になります。この1年、お買い上げいただいた皆様へ感謝します。次年度は、5月から販売を開始します。引き続き、皆様のお越しをお待ちしております。

広島市役所 1 階ロビー (東側)			
出店販売日	事業所 (1)	事業所 (2)	事業所 (3)
2月	4日	SOARきつつき	おりづる作業所 みのり作業所
	18日	広島皆賀園	アイサンサン作業所 なないろ作業所
	25日	広島どんぐり作業所	元気工房やる気まんまん —
3月	3日	WIND えのみや	おりづる作業所 すまいるスタジオ
	10日	SOARきつつき	アイサンサン作業所 安芸の郷
	17日	もみじ作業所	スーリール アイラブ作業所
	24日	広島皆賀園	おりづる作業所 —
	31日	広島どんぐり作業所	みのり作業所 ワークハウススマイル

出店販売日	安佐北区役所 1 階ロビー	安佐北区総合福祉センター 2 階
2月	4日	—
	18日	可部つちくれの家
	25日	亀崎夢ひろば 可部つちくれの家
3月	3日	—
	10日	— 亀崎夢ひろば
	17日	—
	24日	亀崎夢ひろば 可部つちくれの家
	31日	—

記事にする話題、情報がありましたらお知らせください。

1. すまいるスタジオの役割

「千羽鶴ファクトリーチーム」は、千羽鶴未来プロジェクトと広島市内 46 の障害福祉サービス事業所が協力して、全国から届けられた千羽鶴を解体・仕分けして再生和紙に抄紙し、その再生和紙を使ったグッズを製造・販売するなどの活動を行っています。すまいるスタジオは、千羽鶴再生ファクトリーチームのキーステーションとして、障がいのある方の仕事づくりに日々取り組んでいます。

2. 広島市長表彰の記念品として御朱印帳が採用されました

2019 年度広島市心身障害者関係更生援護功労者等表彰式の記念品として、千羽鶴再生和紙の御朱印帳が採用されました。表彰された 15 名の方には、広島市長より表彰状並びに記念品の御朱印帳が贈呈されました。御朱印帳が採用されたことは、各事業所に職人が育ち、クオリティの高いグッズを製作できるようになった成果だと感じています。



現在、ファクトリーチームの 6 事業所 10 名の障がいのある職人たちが御朱印帳を製作しています。24 枚の再生和紙を貼り合わせていく作業は難易度が高いのですが、製作に携わる職人の皆さんは、少しずつコツをつかみ、製作できるようになりました。きつつき共同作業所の住吉叶さん（24、写真左）は、障がいのある職人として御朱印帳の製作に携わっています。御朱印帳の製作を始めた頃に不安そうな表情だった住吉さんは、職人として育つことで、今では活き活きと

して御朱印帳を製作しています。今回、広島市長表彰の記念品として採用されたことは、障がいのある職人たちにとって大きな自信につながりました。

今後も千羽鶴再生グッズの製作を通じて、障がいのある職人を育てる取り組みをファクトリー全体で進めていきたいと思います。すまいるスタジオでは、千羽鶴再生グッズの製作に携わりたいファクトリーチームの皆さんに、グッズ製作を体験していただく機会を作っています。是非、見学・体験へお越しください。

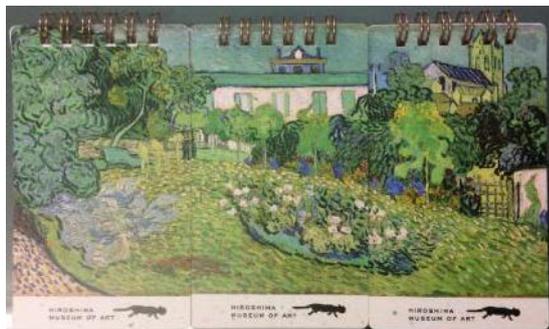


3. ミュージアムグッズを製作しています



障がいのある人が職人になる取り組みを続けているファクトリーチームに、賛同をしてくださる全国の行政や企業、団体が増えてきています。今年度、新たに『広島市安佐動物公園』『広島市森林公園こんちゅう館』『ひろしま美術館』のミュージアムグッズとして採用いただきました。昨年 10 月より納品を始めた広島市安佐動物公園からは、これまでに 1,000 冊を超える

注文をいただきました。ミュージアムグッズの製作に携わることは、グッズを製作している職人たちのモチベーション向上にもつながっています。グッズは、全て千羽鶴未来プロジェクトによる企画デザインで、お客様のニーズに合った商品提案ができるよう千羽鶴未来プロジェクトと相談しながら活動を進めています。



■ひろしま美術館
B7メモ帳（3冊セット）



■ひろしま美術館
32mmカンバッジ（11種類）



■広島市安佐動物公園
M8メモ帳（26種類）



■広島市森林公園こんちゅう館
M8メモ帳（13種類）

千羽鶴再生グッズの受注が増えてきている中、ファクトリーチームの誰もが受注し、製作できる仕組みを作っています。各事業所に職人が育ち、受注したグッズを共同で製作することが、チームの大きな目標です。すまいるスタジオは、ファクトリーチームの相談窓口として、「オリジナルグッズを作りたい!」「千羽鶴再生グッズの製作に携わりたい!」など、お気軽にご相談ください。デザインは千羽鶴未来プロジェクトが担当なので安心です。



御朱印帳体験会の様子
（可部つちくれの家）

多くの関係皆様のご協力をいただいていることに感謝をし、これからも障がいのある人たちが生き活きと働き、暮らしていくための支援になるよう、引き続きよろしく申し上げます。

【お問い合わせ先】すまいるスタジオ（河東） TEL082-240-9400